

2017年
(平成29年)
10月20日

第120号

発行 社会福祉法人 豊丘村社会福祉協議会 〒399-3202 豊丘村大字神稻3039番地1 ☎ 0265-35-1122



ボランティアを依頼のあった現場に振り分けます（マッチング）

昨年に続き、第2回目となる災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（豊丘村社会福祉協議会主催、後援：豊丘村）を、10月1日（日）に開催し、57名の皆様に参加をいただきました。

災害ボランティアセンターは、被災地に設置されるボランティアセンターで、被災者の自立と生活支援を目的に、全国から駆けつけるボランティアの力と被災した住民のニーズを結びつけ、災害復旧・復興支援を行う拠点となるものです。

村内で大規模災害が発生した時を想定して、スマートなボランティアの受け入れ体制を確認するもので、社協職員がセンター運営スタッフ、参加者の皆様が被災地に駆けつけたボランティアとの設定で、訓練を実施しました。

ご協力いただきました皆さんに感謝申し上げます。

お知らせ

福祉まつり 介護用品《あげます。ください》

コーナーへのご協力のお願い。

11月11日（土）開催の福祉まつりの、「介護用品あげます・ください」コーナーへ物品のご寄付をお願いします。

紙おむつ・パット・下着・介護用の器具等

※（器具の内容は事前にご相談をお願いします。）

届け先：豊丘村社会福祉協議会 締切日：11月8日（水）

【福祉まつりの詳細は6面を】



開会式

災害ボランティアセンターは屋外に設置する可能性もあります。今年度はセンターの一部を駐車場にテントを設置し、実施しました。

設置後は、訓練に参加された皆様にご協力いただき、ボランティア活動をする役とボランティアの受け入れ役に分かれ、訓練マニュアルに沿って動作確認をしました。(写真①～④)



①受付

②オリエンテーション (注意・説明) ↓

③マッチング↓ (作業場所決め)

④物資の貸出し

災害ボランティアの活動の目的は、被災地と被災者の生活の再建です。生活の再建に向けてニーズを把握し、その手段であるボランティア活動がスムーズに行えるようなセンターの運営が大切だと感じました。

被災者のニーズに合わせてボランティア活動に向かうわけですが、ボランティア役の皆様からは想定外の質問も飛び出し、臨機応変な対応が求められました。

動作確認の後は、長野県社会福祉協議会の方を講師に招き、国内で実際に設置された災害ボランティアセンターの事例をお聞きし、当日の訓練の講評もいただきました。

○災害ボランティアセンターの意義を確認できた
○毎年訓練を繰り返すこと
で、問題が分かってくると思う

○社協だけでなく、応援スタッフの強化も必要

○地域を知らないボランティアへの対応を考えておくべき

○ボランティア活動の際には生活支援の視点を持つことが大切だと思った
○様式は、書きやすいよう見直しが必要

「ほほえみ」では9月27日に火災避難訓練を実施しました。年2回、火災と地震を想定して訓練を行っています。消防署への通報訓練、車いす・歩行器等の運搬手順や避難経路の確認等を行い、ご利用者の安全を最優先にした避難誘導を心掛けております。なお、「はつらつクラブ」でも、同様に年2回の訓練を実施しています。

訓練後の講演・講評

「ディサービスセンター
ほほえみ」で火災避難訓練を行いました



高齢者クラブ事業

ゲートボール大会

9月8日、秋のゲートボーラー大会が開催されました。

6チーム39名の参加があり、白熱した試合が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

優勝 林里チーム
準優勝 福島チーム
3位 河野チーム



ゲートボール大会



芸能大会



感じました。支部での踊りの発表も増え、とても楽しい発表でした。

第3部
はプロ歌
手の桜ゆ

みさんをお招きました。

今年度の芸能大会は、20回

という節目の年でしたので、参加された皆様に紅白饅頭を記念品としてお配りいたしました。

7月23日、高齢者クラブ芸能大会が開催されました。

中学吹奏楽部の素晴らしい演奏で幕が開き、金賞を受賞した演奏に、参加者も真剣に聞き入っていました。

第2部の地元グループの発表では、それぞれの支部からカラオケや踊りの披露がありました。昨年と比べると、より一層趣向を凝らした発表もあり、何度も練習した成果を

員会との意見交換会

10月5日、高齢者クラブ連合会「交通安全講習会」をゆ



社会文教委員会との意見交換会



交通安全講習会

結果(身障協分)	
(卓球)	1位 山田 修司
(ソフトボール投げ)	2位 林 豊美
筒井 宏司	3位 吉川 良一
(フライングディスク)	2位 大倉 淳



駒ヶ根市「シルクミュージアム」にて

第1回長野県障がい者スポーツ大会

リフレッシュ事業

9月3日、松本平運動公園陸上競技場・体育館等

において、第17回長野県障がい者スポーツ大会が開催されました。

飯田警察署の赤羽さんより、75歳以上の運転免許の更新、運転免許の自主返納制度、ま

た、交通事故故を起こさないためのポイントなどをお聞きしました。

クラブ会員38名の参加がありました。

また、この後、社会文教委員会との意見交換会がありました。高齢者クラブ会員を増やすための意見や、村内の病院についての要望等が出されました。

前回までは日曜日に行つていましたが、今回は平日の実施としました。



開会式 炬火点火

第2回介護者リフレッシュ事業

今年度第2回目となります。介護者リフレッシュ事業を、8月25日に行いました。

自宅で介護をされている12名の皆様と、まちづくり委員の方にも参加をいただき、駒ヶ根市の「シルクミュージアム」の見学と、隣にある「バイキングレストラン菜々ちゃん」での、地元食材をふんだんに使った昼食を楽しみました。

「シルクミュージアム」では養蚕・シルクの歴史に触れ、「農産物直売所」や「里の菓工房」での買い物もあり、参加いただいた皆様も、日頃の介護の疲れを少しでも癒していました。

ただけたと思います。

駒ヶ根市「シルクミュージアム」にて



中芝ミニディ 高森町松源寺

中芝高齢者クラブ睦会は平成24年より月1回ミニディを実施しています。当時から男性の参加者が半分を占めています。今までに、そばうちや満蒙開拓の話を聞いたりなど、独自の内容や、時にはお酒の一杯も取り入れながら楽しく取り組んでいます。9月のミニディは村のバスをお借りして、高森町の松源寺と瑠璃時に行き、それぞれの住職にお話をうかがつてきました。松岡城址跡では、高森町から豊丘を望み、いつも見ている反対側からの景色に、リニアの話なども出ていました。

中芝の10月の内容は、皆さんのお願いです、「終活について」です。



男塾 第3回



男塾 第2回

- 第2回 7月25日 「料理を作ろう」講師 飯田市TESSHIN 宇佐美健一さん(豊丘村出身)
- 第3回 8月29日 「写真を撮ろう」講師 カメ



J A 葬祭の方をお招きして、葬儀の費用や終活ノートについて学習する予定になっています。

ラマン宮下正弘さん(豊丘村在住)

教えていただき、参加者の皆さんからは質問も多く、真剣そのものです。懇親会も行いましたので、参加者同士が打ち解け和気あいあいと楽しく受講されています。次回は：

お手伝いいただける方は、社協、地域福祉課(宮下)までご連絡ください。



男塾 第4回

● 第4回 9月26日 「コーヒーを学ぼう」講師 カフェセラードさん(中川村) 6月から始まった男塾も、4回の講座を終え、残すところあと3回となりました。どの講座もその道のプロの方に

第2回に教えていただいた料理を作り、ワインを楽しみます。受講されていました。次回は： 第2回に教えていただいた料理を作り、ワインを楽しみます。

『赤い羽根共同募金』ご協力のお願い じぶんの町を良くするしくみ

昭和22年にスタートした赤い羽根共同募金は、今年71回目を迎えます。毎年村民の皆様の「あたたかいご支援」ありがとうございます。

10月1日から全国で取組みが始まり、豊丘村でも11月または12月の集金日に併せてご協力ををお願い申し上げます。(目標額を定めていますが、あくまで任意の募金でありますので、趣旨をご理解いただきご自由な判断でご協力ををお願いいたします。)

皆様からの善意の募金の大部分は、福祉協力校として活動を行っている南・北小学校及び中学校への補助金のほか、障がい者等の「希望の旅」への補助金等、福祉活動費に充てられます。

また一部は県内福祉施設での活用や、災害による被災地にも送られます。

期 間 平成29年10月1日～12月31日



「おあがりてランチ」配食のお手伝いをいただける方募集!
10月26日(木) 80歳以上の
おひとり暮らしの方を対象に、秋
の味覚たっぷりのお弁当をお
配りします。そのお弁当を希望
者にお届けするお手伝いをし

てくださる方を募集します。
平素、皆様方には豊丘村社会福祉協議会の事業につきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
6月・7月にお願いをしました、平成29年度の社協会費は、2,384,500円を会員の皆様方から納入していました。
皆様からご協力頂いた会費は、地域福祉推進等の事業に使わせていただきます。
ありがとうございました。

【会費納入額内訳】

会員区分	納入金額(円)
一般会員	1,778,500
賛助会員	225,000
法人会員	381,000
合 計	2,384,500

ボランティアセンターだより

No.23

豊丘村ボランティアセンター
豊丘村神稻3039-1
開館時間：平日午前9時～午後5時
休館：土・日・祭日
TEL 35-1122 / FAX 35-1123
E-mail : vcenter-toyooka@mis.janis.or.jp

～研修旅行に行ってきました～



善光寺にて

豊丘村ボランティアの会では、10月10日（火）に参加者27名で長野市方面へ研修旅行に行ってきました。

さわやかな秋晴れの中、安曇野ちひろ美術館・長野県庁災害対策本部室などを見学し、善光寺でお参りをしてきました。

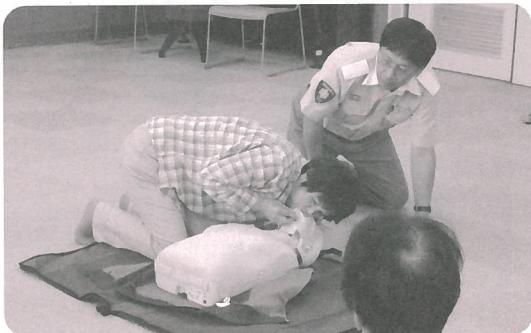
災害対策本部室では、ヘリコプターからの中継が見られるテレビや、衛星電話が何台もありました。正確な情報があってこそ必要なことが判断できるとのことで、災害発生時の情報収集の大切さを改めて実感しました。

介護予防サポーター養成講座終了間近です！

7月から行ってきた介護予防サポーター養成講座ですが、10月の6回目をもちまして今年度は終了となります。

全講座を修了された方は、『介護予防サポーター』として村長さんから認定されます。

今年度で4回目となるこの講座。修了生が年々増え、今後の活躍がますます期待されます。



救命救急講習会

傾聴ボランティア講座に参加しました

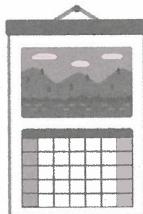
10月12日（木）、松川町で傾聴ボランティアの講座があり、介護予防サポーター養成講座の受講生12名が参加して長野県社会福祉協議会傾聴電話運営委員長 内山二郎先生の話を聞いてきました。

傾聴とは、「相手の気持ちに寄り添い、感情や気持ちを共感的に受け止める聞き方」とのことです。傾聴の基本と実践について学びましたが、楽しい雰囲気の中で講座が進み、「普段の生活にも取り入れられそう」「認知症予防の回想法はサロンでも生かしていきたい」等の感想がありました。



講座の様子

*カレンダーあげます・ください*今年も行います



「私のところにはカレンダーが届かないで、どこかでもらえないかなあ…」一人暮らしの方からこんな声を耳にしました。年末になるとあちらこちらから配られるカレンダー。皆様のお宅や職場に余っているカレンダーがありましたら、ぜひ『カレンダーあげます・ください』にご協力ください。12月に入りましたら、村の有線放送などで呼びかけを行いますので、ご協力をお願い致します。

平成29年度
とよおかまつり共催

介護者支援
介護なんでも相談
介護用品
あげます・ください
介護用品展示販売

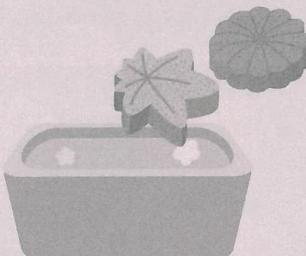
みんなの広場
おしるこ(200食)
綿あめ(100本)
デイサービスほほえみ
ご利用者様作品展

福祉まつり



体験コーナー

車いす体験
ほほえみゲーム体験
お菓子のつかみどり
工作体験
バスボム(入浴剤)づくり



11月11日(土) 10:00 ~ 15:00

豊丘村社会福祉協議会

デイサービスセンターほほえみ

〒399-3202 豊丘村神稲 3039-1 TEL:35-1122 FAX:35-1123



社協報「ほほえみ」は、共同募金の配分金で発行されています。